

電子マネー「WAON」での路線バスの運賃決済サービス初！ 路線バスの「WAON」決済サービスを開始 5月21日(月)より十勝バス、くしろバス、今秋より阿寒バスにてスタート

北海道のイオングループ（イオン北海道㈱・マックスバリュ北海道㈱）は、さらなるお客さまの利便性向上及び地域の一層の活性化を図るため、5月21日（月）より十勝バス、くしろバスの定額運賃路線にて、今秋より阿寒バスも加わりWAON決済サービスの実証実験を開始し、順次、多区間運賃※路線においてもサービスを拡大してまいります。

交通系ICカード以外の電子マネーによる多区間運賃決済は、全国初の取り組みとなります。

この路線バスでのWAON決済サービスは、イオンが進める「地域エコシステム」の一環として、地域の重要な移動手段としてのバス路線の活性化はもちろんのこと、公共交通機関での来店を促進し、さらなる利便性向上と地域の活性化を図る目的で実施いたします。

また、十勝バス、くしろバス、阿寒バスでは、電子マネー決済サービスを初めて導入いたします。

イオンの電子マネー「WAON」は2007年4月に誕生以来、“いつでも・どこでも・誰でも”気軽にご利用いただける生活者の電子マネーというコンセプトのもと、利用できる加盟店を増やしてまいりました。北海道の利用可能箇所は約7,000箇所となり、お客さまからも高い支持を得ております。

また「WAON」には、日々のお買物でご利用いただくと、ご利用金額の一部をイオンが自治体などに寄付し、地域の発展にお役立ていただける「ご当地WAON」もございます。北海道では2011年の「ほっかいどう遺産WAON」の発行を皮切りに、現在までに7種類を発行し、これらの「ご当地WAON」による道内での累計寄付金額は約1億1千万円となりました。

北海道のイオングループは、地域の企業と連携し、より住みやすいまちづくりの実現に向け、地域内の交通網の整備や魅力あるサービスの向上に貢献できるよう努めてまいります。

※多区間運賃とは、バスの路線を区間ごとに区切って、区間をまたぐごとに運賃が加算されることです。

【決済サービス導入の概要について】

①十勝バス

導入開始：5月21日(月)

利用可能路線：西地区コミュニティ路線

※今秋より一部の多区間運賃路線にて導入予定

②くしろバス

導入開始：5月21日(月)

利用可能路線：たくぼく循環線

※今秋より多区間運賃路線のイオン釧路線の1路線にて導入予定

③阿寒バス

導入開始：今秋予定

※多区間運賃路線のリフレ線（鶴野経由・大楽毛経由）、高専まリモ線、鶴野ニュータウン線の3路線にて導入予定

【本件に関するお問い合わせ先】

イオン北海道株式会社 総務部広報・IR 佐藤・山崎
マックスバリュ北海道株式会社 経営企画部

電話：011-865-9111
電話：011-631-5192

ご参考

■「WAON」の概要について

「WAON」は、あらかじめチャージ（入金）してご利用いただく電子マネーで、お買物ご利用金額200円（税込）につき1WAONポイントが貯まり、貯まったポイントはWAONにチャージしてお買物にご利用いただけます。

また、「WAON」には、ご利用金額の一部をイオンが自治体などに寄付させていただき、地域経済の活性化や環境保全、観光振興などにお役立ていただく「ご当地WAON」があり、北海道では、7種類の「ご当地WAON」を発行しています。道東地区では、2017年10月13日に、帯広市と包括連携協定を締結し、その一環として「とちかち帯広WAON」を発行、お支払い金額の一部をイオンが帯広市に寄付し、帯広市の子育て支援と、教育環境や動物園の充実にお役立ていただきます。

累計発行枚数：約7,010万枚（2018年3月末時点）

利用可能箇所：道内で約7,000箇所（2018年3月末時点）

全国で約38万7,000箇所（自動販売機・タクシー・ドライバー端末22万2,000箇所含む）

<「ご当地WAON」について>

寄付金額：全国で約12億7,247万円、道内で約1億1,041万円（2018年2月末までの累計）

種類：全国で148種類 ※うち、寄付つき141種類（2018年4月末時点）

【道内で発行している「ご当地WAON」の例】



【ほっかいどう遺産WAON】
北海道遺産の保全活動へ活用



【創造都市さっぽろWAON】
札幌市の文化芸術振興に活用



【SAPPORO 雪ミクWAON】
札幌市の観光振興に活用



【あさひかわWAON】
旭川市の中心市街地の活性化と
旭山動物園の魅力向上に活用



【とまチョップWAON】
苫小牧市の地方創生の
取り組みに活用



【はこだてWAON】
函館市の子育て支援事業に活用



【とちかち帯広WAON】
帯広市の子育て支援と
教育環境や動物園の充実に活用